

DRUG



INFORMATION

2007 No. 36

平成19年12月18日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について 1
—平成19年12月6日 薬事委員会結果報告—
2. 新規医薬品添付文書情報 3
3. 医薬品の販売中止について（追加） 8

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・中止・変更について

ー平成 19 年 12 月 6 日 薬事委員会結果報告ー

新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アクトネル錠(リセドロン酸ナトリウム水和物)	17.5mg/錠	骨粗鬆症治療剤	エーザイ
加味帰脾湯エキス錠	3 錠/包	漢方製剤	クラシエ
カロナール錠(アセトアミノフェン)	200mg/錠	鎮痛・解熱剤	昭和薬化
ジェニナック錠(メシル酸ガレノキサシン水和物)	200mg/錠	キノロン系経口抗菌剤	アステラス
シングレア細粒(モンテルカストナトリウム)	4mg/包	ロイコトリエン受容体拮抗薬	万有
セララ錠(エプレレノン)	50mg/錠	選択的アルドステロンブロッカー	ファイザー
アドエア 250 ディスカス、500 ディスカス (フルチカゾンプロピオン酸エステル、他)	各 28 ブリスター/キット	喘息治療配合剤	GSK
サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット (酸化セルロース)	(ニューユニット) 15.2×22.9cm/枚	可吸収性止血剤	J&J
エスラックス静注(ロクロニウム臭化物)	50mg/5.0mL/V	非脱分極性麻酔用筋弛緩剤	オルガノン
ネスブ静注用(ダルベポエチンアルファ)	60µg/1mL/本	持続型赤血球造血刺激因子製剤	キリンファーマ
点滴静注用ホスカビル注 (ホスカルネットナトリウム水和物)	6g/250mL/本	抗ウイルス化学療法剤	アストラゼネカ

採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
コペガス錠(リバビリン)	200mg/錠	抗ウイルス剤	中外
ゼチーア錠(エゼチミブ)	10mg/錠	高脂血症治療剤	バイエル
セレコックス錠(セレコキシブ)	100mg/錠	非ステロイド性消炎・鎮痛剤	アステラス
バルトレックス顆粒(塩酸バラシクロビル)	500mg/g	抗ウイルス剤	GSK
ピオスリー錠(ラクトミン、酪酸菌、糖化菌)	合剤	活性生菌製剤	東亜新薬
オルベスコ 200µg インヘラー(シクレソニド)	(56 吸入) 11.2mg/3.3g/缶	吸入ステロイド喘息治療剤	帝人
デュロテップパッチ(フェンタニル)	10mg/枚	持続性癌疼痛治療剤	協和醗酵
アバスチン点滴静注用(ベバシズマブ)	100mg/4mL/V 400mg/16mL/V	抗悪性腫瘍剤	中外
アリクストラ皮下注(フォンダパリヌクスナトリウム)	2.5mg/0.5mL/筒	合成 Xa 阻害剤	GSK
アルケラン静注用(メルファラン)	50mg/V	造血幹細胞移植前処置剤	GSK
オーアイエフ(インターフェロン α)	500 万国単位/V	天然型インターフェロン-α 製剤	大塚
プロジフ静注液(ホスフルコナゾール)	100mg/1.25mL/V	深在性真菌症治療剤	ファイザー
日赤ポリグロビン N 注(人免疫グロブリン)	[5%] 100mL/V	血漿分画製剤	日赤
ポリドカスクレロール注(ポリドカノール)	[3%] 60mg/2mL/A	下肢静脈瘤硬化剤	ゼリア

採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
塩酸モルヒネ(塩酸モルヒネ)	原末	アヘンアルカロイド系麻薬	武田
カディアンカプセル(硫酸モルヒネ)	20mg/Cp	持続性癌疼痛治療剤	大日本住友
ニューレプチル錠(プロペリシジン)	5mg/錠	精神神経用剤	塩野義
ハイドレアカプセル(ヒドロキシカルバミド)	500mg/Cp	抗悪性腫瘍剤	ブリストル
バリトゲン HD(硫酸バリウム)	400g/袋	X 線診断造影剤	伏見
ピメノールカプセル(塩酸ピルメノール)	50mg/Cp	持続性不整脈治療剤	大日本住友
リスモダンカプセル(ジソピラミド)	50mg/Cp	不整脈治療剤	中外
アミサリン注(塩酸プロカインアミド)	200mg/2mL/A	不整脈治療剤	第一三共
エスポー注射液シリンジ(エポエチンアルファ)	3,000 国際単位/2mL/筒	ヒトエリスロポエチン製剤	キリンファーマ

※院内在庫がなくなり次第、処方中止とします。

製剤変更医薬品 (★:院外専用薬品)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アシノンカプセル ⇒ アシノン錠	75mg★、150mg★/Cp ⇒ 同/錠	H ₂ 受容体拮抗剤	ゼリア
ビタメジン-S カプセル ⇒ ビタメジンカプセル	25mg★、50mg/Cp	複合ビタミン剤	第一三共

※平成 20 年 2 月 1 日付で、処方変更とします。

販売中止医薬品 (★:院外専用薬品)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ハリホット(ノニル酸ワニルアミド、他)	4.8×6cm/枚	消炎・鎮痛温感外用剤	ゼリア
ノボリン 10R 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/筒	インスリン製剤	ノボノルディスク
ペンフィル 10R 注、20R 注(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/筒★	インスリン製剤	ノボノルディスク

※ハリホット：在庫 0 のため、既に処方中止しています。

ノボリン・ペンフィル：平成 20 年 3 月 31 日付で、処方中止とします。

＊リセドロン酸ナトリウム水和物

Sodium Risedronate Hydrate

【商】アクトネル Actonel エーザイ

内用：錠剤(○) 1錠中 17.5mg [846.6 円/錠]

【効】骨粗鬆症

【用】17.5mg を1週間に1回、起床時に十分量(約 180mL)の水とともに投与する。服用後少なくとも 30 分は横にならず、水以外の飲食並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。

【禁】食道狭窄又はアカラシア(食道弛緩不能症)等の食道通過を遅延させる障害のある患者、本剤の成分あるいは他のビスフォスフォネート系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者、低カルシウム血症の患者、服用時に立位あるいは坐位を 30 分以上保てない患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、高度な腎障害のある患者

【副】食道穿孔、食道狭窄、食道潰瘍、胃潰瘍、食道炎、十二指腸潰瘍、肝機能障害、黄疸、顎骨壊死・顎骨骨髓炎 (消)胃不快感、便秘、上腹部痛、悪心、胃炎、下痢、腹部膨満感、消化不良、味覚異常、口内炎、口渇、嘔吐、食欲不振、軟便、おくび、舌炎、十二指腸炎、鼓腸 (過)痒疹症、発疹、紅斑、蕁麻疹、皮膚炎、血管浮腫 (肝)γ-GTP・AST・ALT 増加、ALP 増加、LDH 増加 (眼)眼痛、霧視、ぶどう膜炎 (血)貧血、白血球数減少、好中球数減少、リンパ球数増加 (精)めまい、頭痛、感覚減退、耳鳴、傾眠 (筋)骨筋・骨格痛、Ca 減少 (他)尿潜血陽性、倦怠感、BUN 増加、ALP・P 減少、尿中β2 ミクログロブリン増加、浮腫、ほてり、無力症、動悸、脱毛

【妊】禁忌

【授】回避、投与する場合は授乳中止

【小*】未確立

【商】加味帰脾湯 クラシエ

内用：細粒剤 (1包 3錠) 27錠中エキス粉末 6g(ニンジン 3g、ビャクジュツ 3g、ブクリョウ 3g、オウギ 2g、トウキ 2g、オンジ 1.5g、サイコ 3g、サンシシ 2g、カンゾウ 1g、モッコウ 1g、タイソウ 1.5g、ショウキョウ 0.5g、サンソウニン 3g、リュウガンニク 3g) [7.7 円/錠]

【効】虚弱体質で血色の悪い人の次の諸症：貧血、不眠症、精神不安、神経症

【用】1日 27錠を 2～3 回に分割し、食前又は食間に投与する。

【副】偽アルドステロン症、ミオパシー (過)発疹、蕁麻疹 (消)食欲不振、胃部不快感、悪心、腹痛、下痢

【妊】未確立、有益のみ

【小*】未確立

【貯】遮光

＊アセトアミノフェン Acetaminophen

【商】カロナール Caronal 昭和薬化

内用：錠剤 1錠中 200mg [後 9.6 円/錠]

【効】①頭痛、耳痛、症候性神経痛、腰痛症、筋肉痛、打撲痛、捻挫痛、月経痛、分娩後痛、がんによる疼痛、歯痛、歯科治療後の疼痛 ②下記疾患の解熱・鎮痛：急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)

【用】①1回 0.3～0.5g、1日 0.9～1.5g を投与する。②1回 0.3～0.5g を頓用する。原則として1日 2回までとし、1日最大 1.5g を限度とする。

【禁】消化性潰瘍のある患者、重篤な血液の異常のある患者、重篤な肝障害のある患者、重篤な腎障害のある患者、重篤な心機能不全のある患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、喘息発作の誘発、肝機能障害、黄疸 (血)チアノーゼ、顆粒球減少、血小板減少、血小板機能低下(出血時間の延長) (消)悪心・嘔吐、食欲不振 (他)過敏症

【妊】未確立、有益のみ

【低・新・乳・幼・小】慎重

＊メシル酸ガレノキサシン水和物

Garenoxacin Mesilate Hydrate

【商】ジェニナック Geninax アステラス

内用：錠剤 1錠中 200mg [296.5 円/錠]

【効】咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎

【用】1回400mgを1日1回投与する。

【禁】本剤の成分又は他のキノロン系抗菌剤に対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、小児等

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、偽膜性大腸炎、Lyell 症候群★ Stevens-Johnson 症候群★ 心室性頻拍(Torsades de pointes を含む)★ QT 延長★ 痙攣★ 間質性肺炎★ 好酸球性肺炎★ 錯乱★ 幻覚★ 肝機能障害★ 黄疸★ 急性腎不全★ 間質性腎炎★ 低血糖★ 高血糖★ 汎血球減少症★ 無顆粒球症★ 血小板減少★ 横紋筋融解症★ アキレス腱炎★ 腱断裂★ 血管炎★ ⑩発疹、湿疹、紅斑、皮膚炎、瘙痒症、潮紅、眼瞼浮腫、アレルギー性結膜炎、眼痒痒症 ⑪ AST・ALT・ γ -GTP・ALP・LDH・ビリルビン増加、尿中ウロビリリン陽性 ⑫尿中蛋白陽性、クレアチニン増加、尿中ブドウ糖陽性、頻尿、BUN 増加、尿中白血球・赤血球陽性、尿円柱 ⑬下痢、軟便、便秘、アミラーゼ増加、悪心、嘔吐、腹痛、食欲不振、腹部膨満、口渇、舌炎、口唇炎、胃・腹部不快感、消化不良、異常便、口内炎、舌苔 ⑭好酸球数増加、白血球数減少、リンパ球形態異常、血小板数増加、ヘモグロビン・好中球数減少、赤血球数・ヘマトクリット・血小板数減少、リンパ球数増加・減少、単球数増加 ⑮ K 増加、ブドウ糖増加・減少、Cl・K・Na 減少 ⑯血圧低下、心電図 QT 延長、徐脈、心不全、心房細動、洞性不整脈、心室性二段脈、動悸、胸部不快感、胸痛、血圧上昇、心電図異常 P 波・ST-T 変化 ⑰頭痛、傾眠、不眠症、浮動性めまい、しびれ ⑱⑳背部痛、関節痛、筋痛、筋痙攣、足底筋膜炎 ㉑喘息、血痰、鼻出血、鼻閉、鼻道刺激感、咽喉頭疼痛、気胸、鼻漏、上気道炎症、鼻咽頭炎、咽喉頭炎 ㉒ CK・CRP 増加、寒冷凝集素陽性、味覚障害、倦怠感、熱感、異常感、結膜出血、眼痛、眼充血、色盲、単純ヘルペス

【妊】未確立、禁忌 【授】授乳中止

【小*】未確立

*モンテルカストナトリウム

Montelukast Sodium

【商】シングレア Singulair

万有

内用：細粒剤 1包中4mg

[268.8 円/包]

【効】気管支喘息

【用】1歳以上6歳未満の小児には4mgを1日1回就寝前に投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】アナフィラキシー様症状、血管浮腫、肝機能障害、黄疸 ⑩皮疹、瘙痒、蕁麻疹、肝臓の好酸球浸潤 ⑪頭痛、傾眠、異夢、易刺激性、情緒不安、痙攣、不眠、幻覚、めまい、感覚異常、激越、振戦 ⑬下痢、腹痛、胃不快感、胸やけ、嘔気、嘔吐、消化不良、口内炎、便秘 ⑭ AST・ALT・ALP・ γ -GTP・総ビリルビン上昇 ⑮⑯筋痛、関節痛 ⑰口渇、尿潜血、血尿、尿糖、浮腫、出血傾向、挫傷、動悸、頻尿、倦怠感

【妊】未確立、有益のみ 【授】慎重

【低・新・乳】1歳未満：未確立

*エプレレノン Eplerenone

【商】セララ Selara

ファイザー

内用：錠剤 1錠中50mg

[93.4 円/錠]

【効】高血圧症

【用】1日1回50mgから投与を開始し、効果不十分な場合は100mgまで増量することができる。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、高カリウム血症の患者もしくは本剤投与開始時に血清カリウム値が5.0mEq/Lを超えている患者、微量アルブミン尿又は蛋白尿を伴う糖尿病患者、中等度以上の腎機能障害(クレアチニンクリアランス50mL/分未満)のある患者、重度の肝機能障害(Child-Pugh分類クラスCの肝硬変に相当)のある患者、カリウム製剤・カリウム保持性利尿薬を投与中の患者、イトラコナゾール・リトナビル及びネルフィナビルを投与中の患者

【副】高カリウム血症 ⑩発疹、多汗、瘙痒症、皮膚疾患、蕁麻疹、皮膚乾燥、血管神経性浮腫 ⑮⑯筋痙攣、関節痛、筋痛、筋脱力 ⑰頭痛、めまい、異常感覚、知覚減退、眩暈、片頭痛、攣縮、起立性低血圧、低血圧、失神、不眠症、傾眠、うつ病、神経過敏、不安、健忘 ⑱眼痛、視覚異常、霧視、眼球乾燥 ㉑嘔気、消化不良、下痢、腹痛、便秘、嘔吐、胃食道逆流、鼓腸放屁、口内乾燥、食欲亢進 ㉒ ALT 上昇、 γ -GTP

上昇、AST 上昇、脂肪肝、ビリルビン増加、肝機能異常 ④高尿酸血症、高トリグリセリド血症、CK 上昇、高血糖、コレステロール増加、ALP 上昇、尿糖、痛風、高カルシウム血症、LDH 上昇、脱水、糖尿病悪化、低ナトリウム血症、口渇 ⑤心悸亢進、ECG 異常、狭心症、頻脈、期外収縮、不整脈、潮紅、脳血管障害 ⑥咳、感冒症状・上気道感染、呼吸困難、咽頭炎、鼻炎、副鼻腔炎、喘息・喘鳴、鼻出血 ⑦貧血、ヘモグロビン増加、単球增多、好酸球增多、白血球增多、リンパ球增多、好塩基球增多、プロトロンビン減少、溢血斑 ⑧BUN 上昇、頻尿、クレアチニン上昇、多尿、蛋白尿、夜間頻尿、血尿、尿路感染、尿比重増加、尿比重減少 ⑨勃起障害、女性型乳房、リビドー減退、月経異常 ⑩疲労、末梢性浮腫、無力症、胸痛、四肢疼痛、背部痛、ほてり、疼痛、倦怠感、耳鳴、味覚倒錯

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、投与する場合は授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

【商】アドエア＜ディスカス＞ Adoair GSK
外用：吸入剤（ドライパウダー）

250：1 個 28 ブリスター（1 ブリスター中サルメテロールキシナホ酸 50μg、フルチカゾンプロピオン酸エステル 250μg） [3,575.6 円/キット]

500：1 個 28 ブリスター（1 ブリスター中サルメテロールキシナホ酸 50μg、フルチカゾンプロピオン酸エステル 500μg） [4,113.2 円/キット]

【効】気管支喘息（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β2 刺激剤の併用が必要な場合）

【用】100 ディスカス 1 吸入を 1 日 2 回吸入投与する。症状に応じて 250 ディスカス 1 吸入又は 500 ディスカス 1 吸入を 1 日 2 回吸入投与する。

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症・深在性真菌症の患者、本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者 結核性疾患の患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、K 値低下★ ①発疹、蕁麻疹、血管浮腫 ②呼吸器カンジダ症、嘔声、口腔・咽喉刺激感（異和感、疼痛、不快感）、感染症、むせ、咳、味覚異常、口内乾燥、気管支攣縮 ③心悸亢進、血圧上昇、不整脈、脈拍増加 ④頭痛、振戦、睡眠障害 ⑤悪心、腹痛 ⑥筋痙攣、関節痛、浮

腫、鼻炎、胸痛、高血糖

【妊】有益のみ 【授】授乳中止

【小*】未確立

*酸化セルロース Oxidized Cellulose

【商】サージセル Surgicel J&J

外用：貼付剤 1 枚 15.2×22.9cm

[後 3,097.1 円/枚]

【効】各種手術時の止血及び創腔充填

【用】出血創面に適量を直接適用するか、創腔に充填する。

【禁】骨折面又は椎弓切除術創、大動脈の出血部、非出血性の多量の漿液浸出部

【副】骨再生抑制、神経障害、視力障害、異物反応 ①頭痛、刺激痛、焼けつくような痛み ②くしゃみ

【貯】25℃以下

*ロクロニウム臭化物 Rocuronium Bromide

【商】エスラックス Eslax オルガノン

注射：液剤① 1 瓶（5mL）中 50mg [1,083 円/瓶]

【効】麻酔時の筋弛緩、気管挿管時の筋弛緩

【用】挿管用量として 0.6mg/kg を静注し、術中必要に応じて 0.1～0.2mg/kg を追加投与する。持続注入により投与する場合は、7μg/kg/分の投与速度で持続注入を開始する。挿管用量の上限は 0.9mg/kg までとする。

【警】本剤は、その作用及び使用法について熟知した医師のみが使用すること。

【禁】本剤の成分又は臭化物に対して過敏症の既往歴のある患者、重症筋無力症・筋無力症候群の患者

【副】アナフィラキシー、アナフィラキシー様反応、遷延性呼吸抑制、横紋筋融解症★ ①浮動性めまい ②徐脈、洞性徐脈、心室性期外収縮 ③低血圧、潮紅 ④上腹部痛 ⑤接触性皮膚炎、発疹 ⑥疼痛、注射部位紅斑 ⑦心拍数増加、血圧上昇、血圧低下、AST 増加、ALT 増加、血中ビリルビン増加、白血球数減少、白血球数増加、血小板数減少、血小板数増加、血中 ALP 増加、血中 ALP 減少、血中コレステロール増加

【妊】未確立、有益のみ

【授】原則回避、投与する場合は授乳回避

【新】未確立 【乳・幼・小】慎重

【貯】2～8℃

＊ダルベポエチンアルファ Darbepoetin Alfa

【商】ネスプ Nespo キリンファーマ

注射：液剤(㉑) 1 シリンジ(1mL) 中 60 μ g
[14,447 円/筒]

【効】透析施行中の腎性貧血

【用】本剤は、エリスロポエチン(エポエチンアルファ、エポエチンベータ)製剤から切り替えて使用する。週 1 回 15～60 μ g を静注する。週 1 回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での 1 回の投与量の 2 倍量を開始用量として、2 週に 1 回投与に変更することができる。その場合には、2 週に 1 回 30～120 μ g を静注する。腹膜透析患者で 2 週に 1 回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での 1 回の投与量の 2 倍量を開始用量として、4 週に 1 回投与に変更することができる。その場合には、4 週に 1 回 60～180 μ g を静注する。最高投与量は、1 回 180 μ g とする。貧血改善効果の目標値は、ヘモグロビン濃度で 11g/dL(ヘマトクリット値で 33%)前後とする。

【禁】本剤の成分又はエリスロポエチン製剤に過敏症の患者

【副】脳梗塞、脳出血、肝機能障害、黄疸、高血圧性脳症、ショック、アナフィラキシー様症状、赤芽球癆、心筋梗塞、肺梗塞 (循)血圧上昇、不整脈、透析時低血圧、動悸、狭心症 (皮)瘡痒症、発疹 (肝)肝機能異常、 γ -GTP 上昇、AST 上昇、ALT 上昇、ALP 上昇、胆嚢ポリープ (代)血清カリウム上昇、貯蔵鉄減少、血中リン上昇、尿酸上昇、食欲減退、二次性副甲状腺機能亢進症 (血)好酸球増多、血小板減少、白血球増多 (消)嘔気・嘔吐、腹痛、胃炎、十二指腸炎 (寛)頭痛、倦怠感、めまい、感音性難聴 (眼)硝子体出血、結膜炎 (他)シャント血栓・閉塞、透析回路内残血、シャント部疼痛、LDH 上昇、止血不良、胸部不快感、血尿、閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽

【妊】未確立、原則禁忌、投与する場合は有益のみ 【授】未確立、原則禁忌、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光、2～8℃

＊ホスカルネットナトリウム水和物

Foscarnet Sodium Hydrate

【商】ホスカビル Foscavir アストラゼネカ
注射：液剤(毒) 1 瓶(250mL) 中 6g [7,896 円/瓶]

【効】後天性免疫不全症候群(エイズ)患者におけるサイトメガロウイルス網膜炎

【用】1) 初期療法：1 回 60mg/kg を、1 時間以上かけて 8 時間毎に 1 日 3 回、又は 1 回 90mg/kg を、2 時間以上かけて 12 時間毎に 1 日 2 回、それぞれ点滴静注する。初期療法は 2～3 週間以上行う。2) 維持療法：初期療法に続く維持療法には、1 回 90～120mg/kg を 2 時間以上かけて 1 日 1 回点滴静注する。維持療法中に再発が認められた場合は、初期療法の用法・用量により再投与することができる。初期療法、維持療法のいずれの場合も、本剤による腎障害を軽減するため、本剤による治療中には水分補給を十分に行い、利尿を確保すること。

【警】◆本剤の投与により腎障害があらわれるので、頻回に血清クレアチニン値等の腎機能検査を行い、腎機能に応じた用量調節を行うこと。◆本剤は、電解質異常に伴う発作を誘発することがあるので、定期的に血清電解質を測定する等、観察を十分に行い、慎重に投与すること。

【禁】本剤に対し過敏症の既往歴のある患者、クレアチニンクリアランス値が 0.4mL/分/kg 未満の患者、イセチオン酸ペンタミジンを投与中の患者

【副】ショック、急性腎不全、心不全、心停止、血栓性静脈炎、痙攣発作、テタニー、呼吸抑制、麻痺性イレウス、失語症、痴呆、横紋筋融解症、敗血症 (血)貧血、ヘモグロビン・顆粒球減少、白血球・血小板減少、血栓症、白血球増多 (循)高血圧、心電図異常、心悸亢進、浮腫、潮紅、徐脈、期外収縮、低血圧、心室性不整脈、QT 間隔の延長 (呼)呼吸困難、喉頭炎 (過)発疹、瘡痒 (皮)皮膚潰瘍形成、皮膚障害、多汗 (腎)クレアチニンクリアランス低下、クレアチニン上昇、尿毒症、排尿困難、尿道障害、多尿、蛋白尿、中毒性ネフロパシー、腎尿細管障害、夜間頻尿、抗利尿ホルモン異常、腎臓痛、尿崩症 (代)アシドーシス、ALP 上昇、血液量過多、LDH 上昇、体重減少、アミラーゼ・CK 上昇 (電)低マグネシウム血症、低カリウム血症、低カルシウム血症、

低リン酸血症、高リン酸血症、低ナトリウム血症、高カルシウム血症 ⑨悪心・嘔吐、下痢、食欲不振、腹痛、便秘、消化不良、味覚倒錯、腸炎、膵炎、鼓腸放屁、口渇、口内乾燥 ⑩知覚異常、頭痛、めまい・眩暈、不随意筋収縮、無力症、錯乱、知覚減退、神経障害、抑うつ、不安、疲労、倦怠感、精神病、神経過敏、興奮、攻撃性、振戦、運動失調、緊張亢進、ジスキネジア、末梢神経障害、反射亢進、昏迷、協調異常、EEG 異常、傾眠、健忘 ⑪局所刺激性による性器の刺激、陰茎潰瘍、外陰腭潰瘍 ⑫AST・ALT・γ-GTP 上昇、AG 比異常 ⑬ミオパシー、筋炎、筋脱力、筋肉痛 ⑭注射部疼痛、注射部炎症 ⑮発熱、悪寒、感染症、視覚異常、疼痛、網膜剥離、複視、耳鳴、耳痛

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立、有益のみ

医薬品の販売中止について（追加）

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
チレオイド錠(乾燥甲状腺)	50mg/錠	甲状腺ホルモン製剤	第一三共
ツムラの生薬修治ブシ末 N	原末	生薬製剤	ツムラ
ドオルトン錠(ノルゲストレル、エチニルエストラジオール)	合剤	経口黄体・卵胞ホルモン剤	バイエル

上記薬剤（いずれも院外採用のみ）については薬事委員会では報告しておりませんが、既に販売中止が決定されているため、ご連絡致します。いずれの薬剤も経過措置期間終了日が平成 20 年 3 月 31 日となっているため、オーダについても同日で終了することと致します。現在、処方されている患者様がある場合には、他剤への変更をお願い致します。